

業務仕様書

1. 事業名

生駒駅南口みらいビジョンの実現に向けた社会実験事業

2. 業務目的

生駒駅南口周辺の魅力創出やエリア価値向上をめざし、道路空間等を活用して、住民や来街者が、くつろぎや交流を楽しむ場を創出するなど、生駒駅南口みらいビジョン(以下「みらいビジョン」とする。)に掲げた将来のまちの姿を試行するほか、その過程や結果を通じて、課題の把握、データの取得や効果測定を行うことを目的とする。

3. 業務の範囲

本業務の範囲は、みらいビジョンに定める対象エリア内とする(別図参照)

4. 業務委託期間

契約締結日から令和6年3月15日まで

5. 委託業務の内容

(1)みらいビジョンの実現に向けた社会実験の企画・運営

①道路空間における歩車分離実験の実施

みらいビジョン記載のテーマ「都市空間」に関連するものとして、広幅員且つ一方通行であるさくら通りの道路空間を活かし、歩車を分離し、安全で滞在快適性の高い将来のまちの姿を試行する。

<実施場所>

さくら通り(西側の広幅員エリア)約100m

<実施期間>

課題抽出や効果検証に必要な期間

<留意事項>

- ・歩行者空間については、安全性の担保を優先したうえで、周辺事業者や市民による利活用によるにぎわい創出策も検討すること。
- ・歩車を分離する道路上の設置物は、周囲の景観を損ねないように留意するとともに、幅広い世代の関心を集めるようデザインについても配慮すること。
また、設置物は他所でも活用できるよう保管性、携行性に優れたものとし、エリアプラットフォームへの帰属を基本とする。
- ・道路占用や、道路使用に係る道路管理者・警察署との協議は、発注者と役割分担を決めたうえで行うこと。

- ・なお、占用料、使用料については減免を想定しているが、協議の結果必要となった場合は、受注者が負担すること。
- ・安全や周辺交通に配慮し、必要に応じて警備員等を配置すること。
- ・実験の実施に際し、奈良先端科学技術大学院大学が別途実施する人流測定や、アプリ「ためしば」などと連動した効果測定についても発注者と連携のうえ検討すること。

②滞留空間の創出

みらいビジョン記載のテーマ「都市空間」に関連するものとして、アーケード下やペDESTリアンデッキなど、車両の通行が少ない環境を活かし、滞留空間を仮設する社会実験を実施し、滞在快適性の高い将来のまちの姿を試行する。

<実施場所>

ぴっくり通り、ペDESTリアンデッキを想定

<実施期間>

課題抽出や効果検証に必要な期間

<留意事項>

- ・将来的な常設化を目的とした配置計画とすること。
(例:空店舗シャッター前には社会実験のコンセプトボード、滞留空間は将来的なほこみち制度の導入を視野に道路空間に設置するなど)
- ・滞留空間の創出に要する設置物は、周囲の景観を損ねないように留意するとともに、幅広い世代の関心を集めるようデザインについても配慮し、屋外利用を前提としたものとする。また、設置物は他所でも活用できるよう保管性、携行性、耐水性に優れたものとし、エリアプラットフォームへの帰属を基本とする。
- ・道路占用や、道路使用に係る道路管理者・警察署との協議は、発注者と役割分担を決めたうえで行うこと。
- ・なお、占用料、使用料については減免を想定しているが、協議の結果必要となった場合は、受注者が負担すること。
- ・安全や周辺交通に配慮し、必要に応じて警備員等を配置すること。
- ・実験の実施に際し、奈良先端科学技術大学院大学が別途実施する人流測定や、アプリ「ためしば」などと連動した効果測定についても発注者と連携のうえ検討すること。

③マルシェ等の社会実験に伴う課題抽出やルールづくりの支援

みらいビジョン記載のテーマ「商い・観光」に関連するものとして、エリアプラットフォームが自ら企画・実施するマルシェ等の社会実験や、エリアプラットフォームから

情報共有する過年度に実施したマルシェ等の取組みから、考察やヒアリングを行い、課題抽出をしたうえで、継続的に実施していくためのルールづくりを支援する。

<実施期間>

令和6年3月15日まで

<留意事項>

・マルシェの企画・実施はエリアプラットフォームにて行う。

(2) 社会実験事業の全体コーディネート

① 全体企画・効果測定

社会実験の効果の最大化や、課題や諸条件等の効率的な抽出のため、各社会実験の関連性等も考慮したうえで、内容、実施スケジュール、目標設定、効果の分析方法等を検討し、事業全体を企画する。

効果測定は、(1)の各実験に関して、将来的な本エリアの魅力創造や価値向上に向けて期待するまちへの効果を定め、個別に検証を行うほか、全事業を通じて得られた効果についても検証しとりまとめる。また、社会実験の先の常設化、経常化に向けて課題を抽出するほか、市民の意見なども収集し、各取組みにおける必要性の調査及び求められる機能等を将来的な整備計画の策定等を見据え整理すること。

② 市民、事業者の参画方法の検討・導入

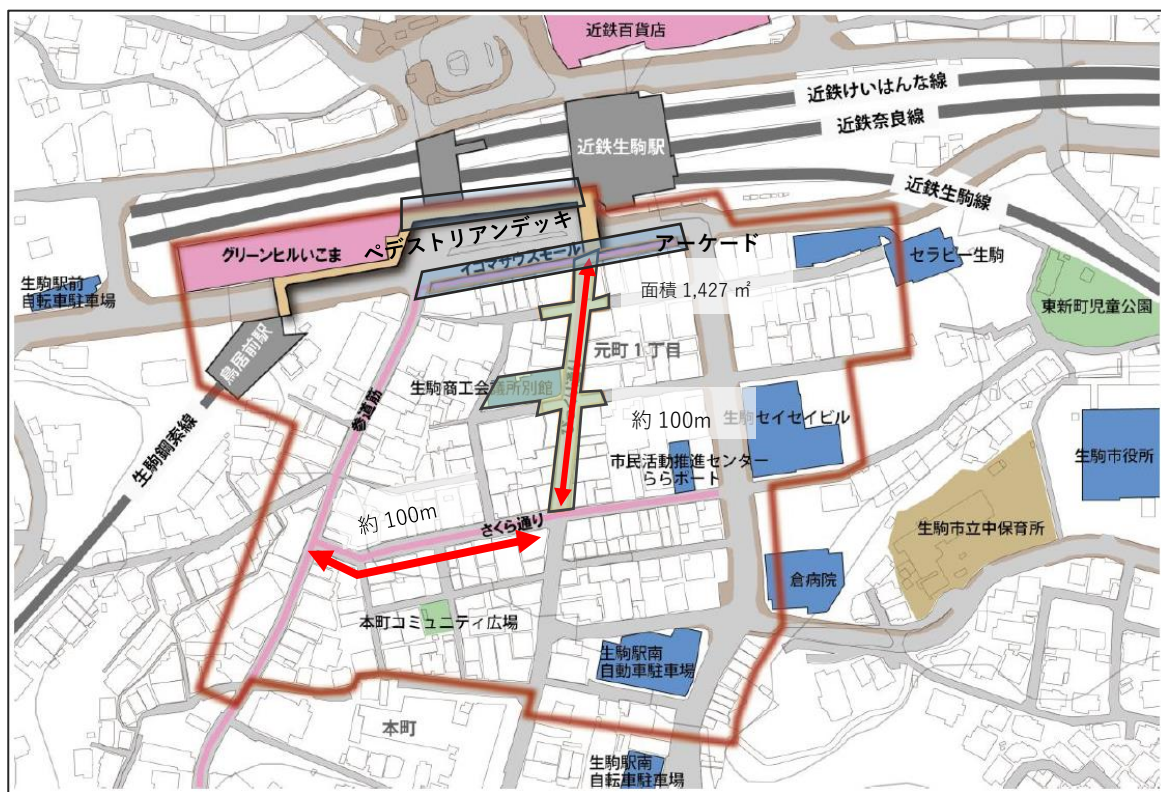
・社会実験の企画および制作・実施等の工程において、将来的なまちづくりの担い手の創出を目的に、滞留空間内のコンテンツを公募するなど、市民や事業者の参画を促す仕組みを検討・導入するほか、導入にあたっては受注者、市民、事業者、エリアプラットフォーム、行政等関係者の役割分担を明確にしたうえで業務を推進する。

ただし、市民や事業者の参画については、事業推進の効率性や効果等を担保する観点から、全ての社会実験の要件とするものではない。

6. 参考資料

- ・生駒駅南口まちづくり通信 vol.1～vol.5
 - ・生駒駅南口みらいビジョン(令和5年5月)
- ともに、生駒市のホームページ参照。

対象エリア



エリア面積は約 6ha